

中世哲学関係文献目録

(原則として 2014 年 4 月より 2017 年 3 月まで)

中世哲学会編

最終更新日：2016 年 10 月 24 日

単行本

- KIKUCHI Satoshi, *From Eckhart to Ruusbroec: A Critical Inheritance of Mystical Themes in the Fourteenth Century* (Leuven University Press) 14.10
三谷 鳩子, カトリックの信仰 —— 使徒信条 —— (聖ドミニコ会・仙台ロゴス研究所) 14.8
保井 亮人 トマス・アキナスの信仰論 (知泉書館) 14.7

翻訳

- ハンス・キュンク, キリスト教思想の形成者たち —— パウロからカール・バルトまで, 片山 寛 [訳] (新教出版社) 14.10
P. デインツェルバッハー・J. L. ホッグ [編], 修道院文化史事典【普及版】, 朝倉 文市 [監訳] 石山 穂澄・伊能 哲大・梅津 教育孝・岡地 稔・小川 宏枝・平 伊佐雄・谷 隆一郎・富田 裕・山崎 裕子・山本 耕平 [訳] (八坂書房) 14.10
トマス・アキナス, 定期討論集霊的の被造物について 第三項試訳, 石田隆太 [訳] (宗教学・比較思想学論集 16・筑波大学宗教学・比較思想学研究会) 15.3
ジョージ・ハウイ, 聖アウグスティヌスの教育理論と実践, 増渕 幸男・神門 しのぶ [訳] (上智大学出版) 14.7
K・フラッシュ, ニコラウス・クザーヌスとその時代, 矢内 義顕 [訳] (知泉書館) 14.8

ラッファエレ・ミラーニ, 風景の美学, 加藤 磨珠枝・池田 礼・長友 瑞絵・深田
麻里亜 [訳] (ブリュッケ) 14.6

研究論文

- 阿部 善彦, ニコラウス・クザーヌスの教育思想 —— ルネサンスとデヴォチオ・モデルナの二つの精神的基盤の接点から見えてくるもの —— (カトリック教育研究 31・日本カトリック教育学会) 14.8
- 阿部 善彦, 偽エックハルト文書と女性たちの霊性 —— 中世から近世のキリスト教思想史におけるエックハルト受容の解明に向けて —— (日本カトリック神学会誌 25・日本カトリック神学会) 14.8
- 荒井 洋一, トマス・アクィナス『神学大全』の残照を受けて (哲学論文集 50・九州大学哲学会) 14.12
- 荒井 洋一, sero te amaui (『告白』一〇・二七・三八) の時制と人称 (東京学芸大学紀要: 人文社会科学系 66・東京学芸大学) 15.1
- 稲垣 良典・高柳 俊一・小林 章夫・佐藤 直子, <シンポジウム>トマス・アクィナス研究 (ソフィア 61-2: 242・上智大学) 14.10
- 小林 剛, イスラーム哲学における「個人」の問題 (東洋学術研究 173・東洋哲学研究所) 14.11
- 小村 優太, イスラーム哲学の文脈における表象力の語彙変遷史 —— イブン・シーナーにおける内的感覚論の形成 (中世思想研究 56・中世哲学会) 14.9
- 佐々木 徹, 聖トマス・アクィナス『神学大全』における神論・三位一体論 (茨城キリスト教大学紀要 47・茨城キリスト教大学) 13.12
- 佐々木 徹, ペルソナの固有名 —— 基礎神学的素描 (茨城キリスト教大学紀要 48・茨城キリスト教大学) 14.12
- 佐々木 徹, 聖トマス・アクィナス『神学大全』における五つの道 (茨城キリスト教大学紀要 49・茨城キリスト教大学) 15.12
- 佐々木 亘, トマス・アクィナス自然法論の現代的可能性 (経済社会学の新しい地平・桜美林大学北東アジア総合研究所) 13.7
- 佐々木 亘, 個と自然法 —— トマス・アクィナスの倫理思想における自然法の位置づけ —— (鹿児島純心女子短期大学研究紀要 44・鹿児島純心女子短期大学) 14.1
- 佐々木 亘, 共同体と正義 —— トマス・アクィナスの倫理思想における正義の位置づけ

- け —— (鹿兒島純心女子短期大学研究紀要 44・鹿兒島純心女子短期大学) 14.1
- 芝元 航平, トマス・アキナスにおける「存在全体の流出」としての無からの創造 —— 偽ディオニュシオス・アレオパギテス『神名論』の影響という観点から (新プラトン主義研究 13・新プラトン主義協会) 14.3
- 芝元 航平, 存在の流入 —— トマス・アキナスの「存在」の独自性 (ソフィア 242・上智大学) 14.10
- 谷 隆一郎, 根源的出会いの時と現代 (共生学 8・上智大学共生学研究会) 14.2
- 久松 英二, ギリシア正教 地中海から世界へ (変わり続けるキリスト教の不思議: もっとよくわかる世界宗教 2 キリスト教編・宗教情報センター) 14.8
- 平野 和歌子, アウグスティヌス『創世記逐語注解』における神的摂理 (中世思想研究 56・中世哲学会) 14.9
- 平野 和歌子, アリウス派論争におけるアウグスティヌスのキリスト論 —— 『マクシミヌス批判』にもとづいて —— (中世哲学研究 33・京大中世哲学研究会) 14.11
- 松村 良祐, 神の甘美さを味わう —— ボナヴェントゥラにおける体験知としての神学 —— (日本カトリック神学会誌 25・日本カトリック神学会) 14.9
- 三谷 鳩子, 第三講 中世哲学 (21世紀の哲学史 —— 明日をひらく知のメッセージ・昭和堂) 11.4
- 矢内 義顕, カンタベリーのアンセルムスと *Artes liberales* (文化論集 45・早稲田大学商学同攻会) 14.9
- 矢内 義顕, <提題>カンタベリーのアンセルムスと自由学芸 (中世思想研究 56・中世哲学会) 14.9
- 保井 亮人, トマス・アキナス『カテナ・アウレア』「マタイ福音書」1章 2-11 節に関する註解 (哲学論究 27・同志社大学哲学会) 13.8
- YAMAKI Kazuhiko, *Imago Dei — Über „anthropozentrische“ Bezeichnungen in der cusananischen Imago-Dei-Lehre (Manuductiones: Festschrift zu Ehren von Jorge M. Marchetta und Claudia D’Amico・Aschendorff Verlag: Muenster)* 14.10
- YAMAKI Kazuhiko, *Das elliptische Denken des Cusanus. Zur Cusanus-Rezeption in Japan (Das Mittelalter: Perspektiven mediävistischer Forschung 19・Mediävistenverband)* 14.6
- YAMAKI Kazuhiko, *Triologus de possest, Dreigespraech ueber das das Koennen ist (Handbuch Nikolaus von Kues: Leben und Werk・Wissenschaftliche Buchgesellschaft: Darmstadt)* 14.8
- YAMAKI Kazuhiko, *De coniecturis, Mutmassungen (Handbuch Nikolaus von Kues: Leben und Werk・Wissenschaftliche Buchgesellschaft: Darmstadt)* 14.8
- YAMAKI Kazuhiko, *Ursachen der Katastrophe von Fukushima — Eine phiosophische Ueberlegung (COINCIDENTIA. Beiheft 3・Kueser Akademie für Europäische Gei-*

stesgeschichte) 14.6

YAMAZAKI Hiroko, *God who Causes Peace and Creates Evil: The Case of Anselm of Canterbury* (*Śląskie Studia Historyczno-Teologiczne* 47-1 • Wydział Teologiczny, Uniwersytet Śląski) 14.9

書評

菊地 智, Jeremiah M. Hackett, *A Companion to Meister Eckhart*. Brill, 2013 (*Medieval Mystical Theology* 23 • The Eckhart Society) 14.6

小村 優太, イブン・シーナー [著] 木下雄介 [訳] 『魂について 治癒の書 自然科学第六篇』知泉書館, 2012 (科学史研究 270 • 日本科学史学会) 14.7

小村 優太, Peter Adamson, *Al-Kindi*. Oxford University Press, 2006 (中世思想研究 56 • 中世哲学会) 14.9

樋笠 勝士, T. Rasimus, etc (ed.), *Stoicism in Early Christianity*. Baker Academic, 2010 (中世思想研究 56 • 中世哲学会) 14.9

矢内 義顕, 稲垣 良典 『トマス・アキナスの神学』創文社, 2013 (宗教研究 381 • 日本宗教学会) 14.12

八巻 和彦, 上智大学中世思想研究所 [編] 『中世における信仰と知』知泉書館, 2013 (宗教研究 379 • 日本宗教学会) 14.6